

令和6年度（第3回）社会教育委員会議次第

日 時 令和6年10月11日（金）

13時30分から

場 所 ラディアン ミーティングルーム1

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

（1）生涯学習課事業報告について 資料1、資料2

（2）生涯学習センターリニューアル基本設計パブリックコメントの
概要について 資料3

（3）その他

5 閉会

※会議終了後、山西小学校放課後子ども教室の視察を行います。

生涯学習課事業報告

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	出席者／人数	担当班
7/1	月	放課後子ども教室（二宮小②1, 3, 5年生）	二宮小学校	110人	93人	学習
7/1～9/16		山西プール開設期間	山西プール	—	—	スポーツ
7/6	土	土曜日のちいちゃいおはなし会	図書館	—	17組	図書館
7/8	月	放課後子ども教室（一色小③）	一色小学校	79人	71人	学習
7/10	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	—	6組	図書館
7/11	木	社会教育委員会議	ミーティングルーム1	8人	6人	学習
7/12	金	「小・中学生にすすめたい本」発行 （小中学校児童生徒に配布）	—	—	—	図書館
7/13	土	洋上体験研修事前研修会	はだのこども館	11人	11人	学習
7/14	日	相続・遺言講座 （協力：神奈川県行政書士会平塚支部）	ミーティングルーム2	40人	35人	図書館
7/16	火	青少年問題協議会	町民センター	9人	8人	学習
7/18	木	青少年指導員連絡協議会	ミーティングルーム2	19人	15人	学習
7/19	金	わらべうたであそぼう！	和室	—	9組	図書館
7/20	土	おはなし会	図書館	—	13組	図書館
7/21	日	町民大学講座『本気のラジオ体操、学んでみませんか』	町立体育館	20人	13人	学習
7/23	火	インターンシップ受入 （星槎学園湘南校高等部 4人 7/25(木)まで）	図書館	—	—	図書館
7/24	水	ブックスタート	保健センター	15組	14組	図書館
7/28	日	町民大学講座『みんなでボッチャを楽しもう』（1回目）	ミーティングルーム2	25人	18人	学習
7/28	日	図書館おしごと体験 （午前の部／午後の部 内容は同じ）	図書館	8人 （各4人）	8人	図書館
7/30	火	町民大学講座『描くことは生きのびること 二見利節』	ミーティングルーム2	20人	22人	学習
7/31	水	放課後子ども教室（二宮小③、全学年）	ラディアン	—	91人	学習
8/1	木	放課後子ども教室（二宮小④、全学年）	ラディアン	—	80人	学習
8/3～8/5		広域連携中学生交流洋上体験研修	新島	11人	11人	学習
8/3	土	町民大学講座『小梅とウクレレを奏でよう2024』（1回目）	ミーティングルーム2	30人	30人	学習

8/4	日	図書館事業『親子で学ぶおこづかい教室』 (協力：神奈川県金融広報委員会)	ミーティングルーム2	15組	14組	図書館
8/7	水	放課後子ども教室（二宮小⑤、全学年）	二宮小学校	-	91人	学習
8/7	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	-	7組 (17人)	図書館
8/8～12		リサイクルコーナー	展示ギャラリー	-	約3,000冊 提供	図書館
8/9	金	町民大学講座『みんなでポッチャを楽しもう』（2回目）	ミーティングルーム2	25人	18人	学習
8/9	金	スポーツ推進委員連絡協議会	ミーティングルーム1	20人	16人	スポーツ
8/10	土	町民大学講座『小梅とウクレレを奏でよう 2024』（2回目）	ミーティングルーム2	30人	19人	学習
8/16	金	わらべうたであそぼう！	和室	-	6組	図書館
8/17	土	ふたみ記念館ボランティア企画『ぼくもわたしもピカソになりたい！』	ふたみ記念館	20人	18人	学習
8/17	土	こわ〜いおはなし会（8月分おはなし会）	図書館	-	16組 (52人)	図書館
8/20	火	放課後子ども教室（二宮小⑥、全学年）	ラディアン	-	81人	学習
8/20	火	放課後子ども教室（一色小④）	一色防災コミセン	-	21人	学習
8/22	木	町民大学講座『磁石の仕組み・超電導・素粒子の質量の起源』（1回目）	ミーティングルーム2	30人	11人	学習
8/25	日	愛のパトロール	町内	19人	6人	学習
8/25	日	町民大学講座『子どものための合唱講座』（1回目）	マルチルーム1	20人	7人	学習
8/27	火	放課後子ども教室（3校合同実施）	ラディアン	-	129人	学習
8/28	水	社会体験受入(二宮西中学校)	図書館	2人	2人	図書館
8/29	木	町民大学講座『磁石の仕組み・超電導・素粒子の質量の起源』（2回目）	ミーティングルーム2	30名	7名	学習
8/30	金	社会体験学習受入（二宮西中学校 4人） →大雨警報等発令のため、中止。 9月13日午後に変更。	図書館	4名	—	図書館
9/1	日	町民大学講座『子どものための合唱講座』（2回目）	マルチルーム1	20人	8人	学習
9/11	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	—	13組 (26人)	図書館
9/13	金	社会体験受入(二宮西中学校)	図書館	4名	4名	図書館
9/20	金	わらべうたであそぼう！	和室	—	6組	図書館
9/21	土	おはなし会	図書館	—	11組 (31人)	図書館
9/24～27		特別館内整理休館（蔵書点検）	図書館	—	—	図書館

9/21	土	町民大学講座『家紋のお話し』	ミーティングルーム2	4名	4名	学習
9/30	月	放課後子ども教室（一色小⑥）	一色小学校	79人	66人	学習
10/1	火	町民大学講座『水墨画始めてみませんか！』	ミーティングルーム1	15人	17人	学習
10/2	水	ブックスタート	保健センター	－	13組	図書館
10/4	金	町民大学講座『あなたを守るサイバーセキュリティの世界』	ミーティングルーム2	30人	22人	学習
10/5	土	町民大学講座『天文学に親しもう』	ミーティングルーム2	30人	26人	学習
10/7	月	放課後子ども教室（一色小⑦）	一色小学校	79人	63人	学習
10/9	水	スポーツ推進委員連絡協議会	ミーティングルーム1	20人	13人	スポーツ
10/9	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	－	5組 (10人)	図書館

生涯学習課事業計画

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	開始時間	担当班
10/11	金	放課後子ども教室（山西小④1, 3, 5年生）	山西小学校	14:30	学習
10/17～ 11/13		第67回 二宮町文化祭	ラディアン	-	学習
10/18	金	わらべうたであそぼう！	和室	10:00	図書館
10/18	金	放課後子ども教室（山西小⑤2, 4, 6年生）	山西小学校	14:30	学習
10/19	土	おはなし会	図書館	10:30	図書館
10/24	木	町民大学講座『電磁波問題-世界で日本で何が起きているのか-』	ミーティングルーム2	14:00	学習
10/26	土	文化祭芸能大会	ラディアン	11:00	学習
10/27	日	第50回 二宮町民俗芸能のつどい	ラディアン	10:00	学習
10/27	日	スポーツ協会事業『第9回 スポーツフェスティバル』	二宮小学校	10:00	スポーツ
10/28	月	放課後子ども教室（一色小⑧）	一色小学校	14:30	学習
11/2	土	県社教連地区研究会	海老名市文化会館	10:00	学習
11/3	日	文化祭 合唱祭	ラディアン	13:30	学習
11/9	土	土曜日のちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
11/9	土	祭り@西中（二宮西中学校運営協議会主催）	二宮西中学校	13:00	学習
11/11	月	放課後子ども教室（二宮小⑨1, 3, 5年生）	二宮小学校	14:30	学習
11/13	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
11/14	木	町民大学講座『近代の歌人について』 全3回 11/21, 28	ミーティングルーム2	13:30	学習
11/15	金	わらべうたであそあぼう！	和室	10:00	図書館
11/15	金	放課後子ども教室（山西小⑥1, 3, 5年生）	山西小学校	14:30	学習
11/16	土	おはなし会	図書館	10:30	図書館
11/16	土	にのっこデイキャンプ （子ども会育成会連絡協議会主催）	東大果樹園跡地	13:00	学習
11/17	日	（仮）ミニリサイクルコーナー （※ふるさとまつり開催日に館内に設置）	図書館	-	図書館

11/18	月	放課後子ども教室（一色小⑨）	一色小学校	14:30
11/19 11/23	火 土	わらべうたであそぼう！＜入門編＞	和室	10:00

学習
図書館

「ラディアン周辺行政機能等集約基本設計(案)」に対する町民意見募集結果の概要について

- ・ 募集期間 令和6年7月1日(月)～31日(水)
- ・ 意見数 188 件(郵送 3 件、メール 95 件、FAX6 件、電子申請 51 件、持参 33 件)
- ・ 人 数 163 人

意見の概要及び町の考え方

【1】新庁舎に関すること

No.	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	新庁舎建設は利便性の向上を目指しているようだが、現時点で具体的にどのような不便や非効率が存在し、それが計画の具現化によりどの程度改善されるのか示して欲しい。	現庁舎は授乳室やみんなのトイレがありません。坂の上で 11%の勾配があり、高齢者や車いすの方がご自身で来庁することは困難です。公共交通機関のバスも狭い道路により進入できません。駐車場が不足しており繁忙期は渋滞が生じています。庁内のいたるところに段差があり車イスやベビーカーの方の移動に支障があります。プライバシーに配慮した相談スペースが確保できていません。これらの全てが解消されます。
2	新庁舎が北棟、南棟の 2 棟建設に分かれているのは何故か？建設費の面では 1 棟にまとめた方が安価に建設できるはず。見栄えや格好の良さからであれば必要ない。建設費削減に努力すべきではないか？	近年、子どもの発達や学校生活に関するデリケートな相談が増えていることから専門家の方からご意見を伺いながら、窓口や議会など主だった行政機能を集約した本庁舎(北棟)と別棟(南棟)としました。北棟は災害対策本部となるため鉄筋コンクリート造となっており、国の基準においても最上級の強さです。一方で、南棟、(仮称)福祉会館は軽量鉄骨造であり、国の基準における中級の強さです。建物の仕様を変えることでコスト的にもメリットがあります。また、設備等はできるだけ共有してランニングコスト低減にも配慮しました。
3	公共建築物は本来、修理や改修を行いながら長寿命化を図るべき。地震に対する安全性を高めるための耐震補強や快適な環境を維持するための空調設備更新。衛生的な環境を維持するための給排水設備の更新。 これらの改修は、既存の建物に対しても十分に可能であり、建て替えによる財政的な負担を避けることができる。建て替えは財源の無駄遣いであり、現在の施設を適切に改修の方が合理的である。	平成 29 年度の「二宮町役場庁舎整備手法調査報告書」により、現庁舎の耐震化は老朽化が著しく、新築同等の費用が見込まれることが分かっています。 また、三角形に近い不整形の建物であり、耐震改修(ブレースの設置)により、著しく利便性が低下することから、建物の使いやすさや残りの寿命などを考慮すると費用対効果に劣ることが分かっています。

4	ラディアン周辺は安全ではない。ここはハザードマップにもあるように、浸水の危険がある地域であり、大雨があると不安である。そのような所に35億もの予算をかけて二宮町役場庁舎建設等をする必要があるのか疑問である。	新庁舎建設地である果樹公園自体は浸水想定区域ではありませんが、周辺においても1000年に1度の確率と言われている「想定最大規模」の事態が発生しても、2時間程度で解消することが分かっています。新庁舎建設により、周辺にお住まいの方にとっては一時的に避難が可能な安心の高まる場になります。
5	議会における新庁舎建設に賛成・反対双方の意見を聞いていると、町が大規模な地震災害に見舞われた場合と、一過性の浸水被害に見舞われた場合を混同して議論しているように感じる。リスクについて確率×被害で比較する手法があると思うが、浸水被害について、町全体をみると過大評価をしすぎではないか。対して、大規模な地震災害に見舞われた後の自治体の業務は、TVなどでも報道されているとおり、自衛隊や他の自治体の応援を必要とする、極めて困難で長期間に及ぶものになる。その拠点を作ることに反対という方々は、リスクについてどのように考えているのだろうか。 従って、一刻も早く新庁舎を建設すべき。その上で、的確な財政見通しの下、バラマキ等の政策を控え、健全に町政を運営していただきたい。	浸水被害はある程度予見できるものであり、ハザードマップで明示しているとおりの状況になることが分かっています。一方で、大地震は季節や昼夜、時を選ばず、突然大規模な被害を生じ、予見や避けることは困難です。発生が高確率で予想されている大規模地震に備え、安全・安心なまちづくりのため、できるだけ早く新庁舎整備を進めてまいります。
6	小中統合を進めるのであれば、空いた学校を改修して庁舎にすれば良いのではないかと？	現在、町内に廃校や空き校舎はありませんが、町の教育がどうあるべきかという視点から小中一貫教育推進計画を基に検討を進めています。令和6年度中に、その研究会からの提言を受け、今後、教育委員会で検討を進めます。その結果について、地域のみな様にご説明し、ご理解を得るには相当の時間を要します。また、災害対策本部となる庁舎と学校の耐震基準は異なるため、災害対策本部に求められる耐震性能を確保するための改修が可能なのか調査する必要があります。
7	町内に存在する空き家を買取り、分散型の行政サービス施設として活用することで、地域全体の利便性を向上させる。耐震補強やバリアフリー化を施し、住民が安全かつ快適に利用できるようにする。主要な行政サービスを分散型とし各地域に適したサービスを提供するため、住民のニーズに合わせた施設配置を行う。オンライン窓口や電子申請システムを導入し、物理的な施設への依存を減らす。移動式の行政窓口や出張サービスを導入し、特定の地	今後、マイナンバーカードの活用等も進み、証明書の発行等はデジタル化されていきますが、一方で役場へ相談に訪れる方は、色々な問題が複雑に絡み合っていることも多く、他課との細やかな連携や調整が必要となる対応が多くあります。 デジタル化を推進する一方で、非常時における対面の必要性も再認識されています。一般事務職員で140人にも満たない二宮町役場の規模を考え、

	域に集中しない行政サービスを提供。イベントや定期的な訪問を通じて、住民が気軽にサービスを利用できる環境を整える。	分散化することは考えていません。
8	新庁舎の規模は必要最小限とすべき。	今回の設計案では必要最小限としました。当初想定で約 4800 m ² だったものを約 4600 m ² としています。
9	建設場所と建設費の削減を検討してほしい。当初の新庁舎計画は町営第一駐車場も含めた町有地だった。前議会での経緯はあると思うが、町有地を有効活用すれば3億の購入費は削減できる。果樹公園は貴重な空間であり、活用策を工夫すれば町民の交流空間となる。	令和元年の基本構想を策定する際、以前の計画地である町営第一駐車場については、洪水浸水想定区域であることから、例え様々な対策をとったとしても万が一のリスクが心配であり不適との声を受け、浸水リスクの無い果樹公園に変更しました。この経緯を踏まえ、果樹公園に建設するための設計費について予算を議会に承認いただいております。

【2】ラディアンに関すること

	意見の概要	意見に対する町の考え方
10	ラディアンのリニューアルの必要性が疑問。現状の利用率が低いと感じている。改装する事で利用率が上がるとは思えない。	ラディアンは建設から24年が経過し、屋根、外壁、空調設備が劣化しています。また、改正された建築基準法に対応する工事等もあり、費用の大部分は施設を維持するために必要なものです。 ホールを含め貸し部屋の稼働率は50%を超えており低くありませんが、その一方で図書館の利用者数や貸出冊数は年々低下しています。これからのデジタル化をふまえ、大きく時代が変化していく20年先を見据え、公共施設としてより町民の方に利用していただくために、今回のリニューアル計画をお示ししました。
11	ラディアン開館から20年以上経過し、最近のトレンドをみると、リニューアルは妥当だと思う。図書館を静かな場所として望む方もいると思うが図書館である前に公共施設なので、できるだけ多くの方に有効に使っていただくための工夫が必要だと思う。本を電子書籍で読むことが当たり前になっている中「図書を貸し出す」ことだけが図書館の仕事なのか？専門的な調べものをするための高価な図書などは、是非揃えていただきたい一方で、ベストセラーを集める意味が分からない。ベストセラーを貸し出すことは、貸本屋にもできる。できるだけ多くの方が図書館を訪れ、本を読むだけ	デジタル化の進展により、タブレット等で読書をする人や、動画視聴が中心になりつつある時代の変化を感じています。一方で、あらゆる人が本に親しめる場や本へふれるきっかけづくり、多くの方々の居場所となる空間がこれから先の時代には求められています。町づくりに寄せられた中高生やラディアン利用者の声にも応えるため、今回のリニューアルを計画しています。

	ではなくゆったりとした時間を過ごすようなスペースへのリニューアルを期待している。	
12	ラディアンの現状がどの程度老朽しているのか不明である、特定天井は建築基準法の改定であり改修理由にならない。自習スペースだけなら低額ですぐに改修できる。	建設から24年が経過し、屋根、外壁、空調設備が劣化しており、部品も供給が停止するなど不具合が生じています。特定天井対策(吊り天井の耐震化)は改正された建築基準法に対応するもので、施設管理者として利用者の安全のために必要なことです。
13	現在の図書館のレイアウトでは幼児・児童を対象とする区域とその他の利用者の区域を明確に分離し、入口を入ってすぐにそれぞれの区域に分かれる設計となっており、幼児・児童たちと大人たちが動線的に交わることはほとんどなく、子供たちはのびのびと自由に、大人たちは静かな環境でそれぞれ本を楽しむことができる。今回示された(案)では幼児・児童コーナーが2階の閲覧室・学習室の下に移動しており、このプランでは子供たちの声はかなり、2階にいる利用者に届き、落ち着いた読書環境に支障がでることが想定される。また、子供たちも大きな声を出すことを抑制され、のびのびと本を楽しむことが出来にくくなり、双方にとってメリットがない。「読み聞かせ」などのイベントを行うに際してもあまり大きな声は出せないようになり活動に支障が生じる。少子化対策が社会の大きな課題であり、行政においても今後、これまで以上に子育て世代へのサポートが必要になってくる。図書館においても子供たちを対象としたイベントや子育て中のお母さん方を対象とする事業の必要性が増加していくことが考えられるが、そうした各種事業を展開していくうえでも幼児・児童コーナーは一般の利用者区域とは離れた場所にしておくべきであり、現在のレイアウトを変更する必要はないと考える。	現在の利用状況を見ると、残念ながらこどものほんコーナーの利用減少は著しいと考えています。図書館である以上に、公共施設であることから、より多くの方々に居心地の良い空間を提供するべきと考えています。こどものほんコーナーを無くすのではなく、より利用しやすいように専門家の意見を踏まえ新たに機能を整理して、今回の案を策定しています。
14	基本設計(案)ではラディアン全体を図書館とみなし、ラディアン内であればどこでも本を読めることとする計画が示されている。ラディアン出入口にセキュリティシステムを導入する計画だが、実効性のあるシステムとなるのか大変疑問である。施設外への持ち出しを防ぐことは大変難しく、管理する職員側にとって大きな負担が生じることは明らかで	現在の図書の管理状況や、他市町の事例を参考にしつつ今回のプランを作成しました。本の管理を重視するのではなく、のびのびと本に親しんでほしい、気軽に本にふれてほしいという願いを込めています。いただいたご意見を参考に、BDS(セキュリティシステム)配置位置等について再検討し、実施設計に活かしていきます。

	あり、管理上大きな問題が生ずるこのような取り扱いの変更は行うべきではないと考える。本は貴重な町の財産であり、管理が必要である。リスクを冒してまで利用区域を広げる必要はなく、現在と同様、閲覧は図書館内とし、ラディアン内のベンチ等で読書するのであれば、正規の貸し出し手続きを行ったうえで読書すべきである。	
15	<p>10 年以上前だが、受験勉強のためにラディアンを利用していた。朝のオープンと同時に図書館 2 階の学習室に入り、図書館が閉まった後は南側のラウンジで閉館まで勉強をしていた。月曜の休館日以外はほぼ毎日通って勉強していたため今でも感謝しており、そのとき感じていたことを、意見として提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モール南側のラウンジにある 6 人掛けの大きな机の椅子は木製のため、長時間座っているとお尻が痛くなる。リニューアルにあわせてクッション性のある椅子にした方が座りやすい。 ・図書館閉館後、南側ラウンジを個人で利用する際に、場所がなく相席になった場合、6 人掛けの大きな机は使いづらい。今でもラウンジは個人で利用する人が多いので、仕切りで区切られた個人席は需要がある。 ・今後は勉強でもタブレットやパソコンの利用が前提になる。そのため、各席にコンセントの差込み口を設けた方が良いと思う。それに伴い、本で勉強する人はパソコンの音が気になると思うので、エリア分けをするなどしても良いのではないか。ラディアンがリニューアルにより、より良い施設となることを願っている。 	中学生や高校生からも同様の声を多くいただいています。図書館内の学習室は、図書館の開館時間に合わせた利用に限られており、二宮町内において自宅以外で学習したい若い世代の方の居場所が大きな課題だと受け止めています。これからの若い世代の方々の声もしっかり受け止めたいと思います。

【3】(仮称)福祉会館に関すること

	意見の概要	意見に対する町の考え方
16	(仮称)福祉会館については新築に反対する。理由は将来的に人口減少が懸念される当町において、無駄な施設の新築は慎重に検討し、「箱もの」事業は極力ミニマムに実施すべきと考えるからである。「無駄」と考える根拠及び、取りやめる前提での対応策(案)は次の通りである。配置を計画している機能が社会福祉協議会以外は会議室が 4 カ所も配	現在、ラディアンのミーティングルーム等の稼働率は 60%程度になっています。(夜しか空いていない状況です)役場内の会議室も同様であり慢性的に不足しています。町民センターも廃止予定であることや、地域の通いの場として定期的な利用を想定していることから町としては必要だと考えています。

	置されている。一方で、既存施設であるラディアンに 3 つのミーティングルームと 3 つのマルチルームが配されている。併せて、新庁舎内にも 2 か所の会議室スペースが計画されている。これだけの会議室スペースがあれば町民のニーズは充足可能と考える。	
17	(仮称)福祉会館の機能として、有事の際のボランティアセンターを置くとしているが、これは新庁舎もしくはラディアンに置くことができるのではないかとより幅広く考えれば有事の際には法務局の一部を借りる等の連携を結ぶことは考えられるのではないかと。	社会福祉協議会は日頃よりボランティアとの関わりが強いことから、現在の地域防災計画でも「ボランティアセンター」として機能することが位置付けられています。本庁舎は災害対策本部として、自衛隊や警察、応援派遣の職員による活動場所になります。ラディアンは中央応急救護所として機能することから難しいと考えます。法務局とは「災害時における施設利用の協力に関する協定」を締結しており、帰宅困難者の一時避難場所や物資保管の協力をいただけることになっています。
18	会議室の面積が現行の町民センターの会議室から著しく減少している。現況の利用状況が混雑している状態を担保できるだけの設備は最低限必要ではないかと。単に稼働率で判断されては困る。一番混雑している状況を軸にして、それを緩和できるだけの施設が必要だと思う。二宮には、代替となる民間施設もない。このままでは、会議室の争奪戦になり、町全体の市民活動が縮小してしまう。現在、町民センターを利用している団体、個人に対するヒヤリングが全く行われていないのはなぜか。現状の町民センターの老朽化は目に余る。10 年後に福祉センターができるまで、この状態が続くのか。不具合が出た部屋をただ一つずつ潰していくのか。雨漏りを放置し続けるのか。部屋にホワイトボードがなくても仕方ないといい、外部講師にチョークで板書をさせるのか。今どき考えられない。引き継ぐゴールが見えた今こそ、それまでの町民センターの保守、保全にかかる経費をきちんと計上し、今あるものを丁寧に最後まで敬意をこめて使い続ける姿勢を見せるべきではないか。現在、町民センターのホールが使用中止になっているが、この代替となる施設がどこにもないのはなぜか。	町民センターは耐震性の不足とともに稼働率が低下しており、老朽化も進んでいることから床面積の削減候補施設として公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に位置付けています。新しく、(仮称)福祉会館や駅前複合施設に同等の機能を設ける予定です。町民センターのホールについては、200 席程ですが、ラディアンホールやミーティングルーム 2 を代替してご利用いただける様、設備等の更新を行ってまいります。

【4】財政に関すること

	意見の概要	意見に対する町の考え方
19	二宮町役場庁舎建設に反対する。人口減、税収減のなか、総額 50 億円を超す計画は、大きな負債となり、町民の未来に大きく影響する事項である。現在の庁舎を改装して利用する方向で再検討するようお願いする。	「令和 6 年度二宮町財政見通し」で令和 15 年までの財政状況の見通しをお示しました。財源を工夫することで、町民サービスが低下することなく建設可能と考えています。また、庁舎建設に伴い新たに町民税が増えることはありません。今後も、財政運営について過度な負担が生じない様に進めてまいります。
20	新庁舎建設と駅周辺整備には 82 億円の費用がかかるとされている。しかし、国や自治体の事業はしばしば当初予算を大幅に超えることが多い。また、人口減少による歳入減少と予算超過のリスクを考慮に入れた上で、この計画が正当化できるのか疑問がある。2045 年までに人口が 35%減少すると予想されている。	事業費が当初の予算から変わることは、隠れた事象や想定外の社会的要因など様々な理由があります。これらリスクの全てを想定することはできませんが、今回財源計画として金利上昇リスクについてはお示しました。財政的なリスクについても、地方交付税制度も踏まえ無理のない計画になっています。なお、82 億円は新庁舎建設と駅周辺整備の費用ではなく、「令和 6 年度 二宮町財政見通し」において令和 15 年度までの主要事業の概算事業費としてお示したものを合計した金額です。
21	「事業費・財源」の最後の文に「他の事業に影響を与えないように施設整備を進めていきます。」とあったように、子どもたちの教育に係る教育予算に影響を受けないようお願いする。	教育や福祉、経済や建設など、町にとってどれも大切な事業です。それぞれに影響が無いようバランス感を持って取り組んでまいります。
22	新庁舎には反対である。町民を人とは思っていない町の行為には虚しさを感じる。頭によぎったのは、住みやすい町二宮、長寿の里二宮が終わったと強烈に感じている。学校もみな古く、公園は草ぼうぼう、住民軽視も甚だしいと思う。次に、町税が上がった。この町にはもう住めない。現庁舎が作られたころは、希望があった。しかし年々古くなる庁舎を見てなんの対策もしないのが町の行政なのだと教えられた。温水プールも年をとると捨てられることになる。	新庁舎建設にともない町民税が上がることはありません。これまでと同様に町民サービスを維持していく計画になっています。
23	人口が少ないのに税金の負担が多い。税金が高い。新庁舎に反対である。	二宮町では、標準税率を採用しており、他の自治体と比較して税率が高いことはありません。また、新庁舎建設の進捗に伴って、今後、新たな町民負担をお願いするということはありません。

【5】その他

	意見の概要	意見に対する町の考え方
24	既存の公共施設は大幅に削減する必要がある。20以上の自治会の数や各自治会にある公共施設を半分以下にし、二宮小学校を含む駅周辺の公共施設敷地も含めて不要となった土地は全て民間などに売却すべきである。	町も公共施設削減や未利用町有地の処分が必要だと考えています。公共施設再配置・町有地有効活用実施計画にお示ししており、町民温水プール跡地及び国立小児病院跡地については今年度、市場調査を実施しています。
25	駅前のパーキングを含め、庁舎移転跡地の利用はどうするのか？	現庁舎跡地は、二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画においてお示ししているとおり、廃止を予定している武道館、町民センターのほか、正泉寺跡地も含めて一体的な利用について検討してまいります。現在、都市計画上の制限もあるため、それを踏まえて検討していきます。
26	二宮の良さは生活に隣接した緑の多さにあり、特に果樹公園は二宮の歴史的経緯からも、二宮町にしかない特徴的財産であり、景観面からも保存すべき空間である。	神奈川県天然記念物である原木園の保存については、県の農業技術センターが引き続き管理することになっています。
27	果樹公園は数少ない憩いの場所。新庁舎の建設候補地になっていることを知らなかった人が少なからずいる。私も知らなかった。老若男女、誰でもが気軽に訪れホッとできる数少ない憩いの場所である。	令和4年2月に策定した新庁舎・駅周辺公共施設再編計画策定時にもパブコメを実施し、令和5年広報5月号、10月号でもお知らせしてまいりました。憩いの空間としての緑地や芝生広場などはできるだけ残してまいります。
28	コンビニや売店を設けてほしい。	コンビニエンスストア各社への出店について打診しましたが、難しいとのことでした。
29	計画に合わせて年季の入ったテニスコートの修復をしてほしい。ベースラインからフェンスの距離を最低でも6mにしてほしい。シングルスコートを廃止して2面ともダブルスコートにしてほしい。コート周りのフェンスを最低でも2mにしてほしい。観客席に屋根を設置してほしい。	テニスコートは、大雨時における葛川への流入を一時的に抑制するための調整池であり、平時はテニスコートとして表面利用をしています。そのため、お求めの規格を満たすことは難しいですが、ラディアン周辺は、テニスコートを含めて、多くの町民の方々の居場所や憩いの空間となることを求められています。周辺環境の整備に合わせて、様々な方の利便性が高まるよう検討してまいります。
30	将来あり得る市町村合併も考えて計画を立ててほしい。	二宮町に合併の予定はありませんが、将来その様な事態が生じたとしても、庁舎の空いた空間を他の用途に使うことや、南棟を減築するなどフレキシブルに対応できるよう設計しています。